



地域と共に

2022年1月号（新年号）

Vol.88



- 新年のご挨拶
- 診療科紹介 第16回 健康管理センター
- 母子保健功労者表彰
- 新任医師の紹介
- 検査機器の更新

基本方針

1. **患者第一主義** 常に診療を受ける皆様の立場で考え誠実に行動します。
2. **安全確保** すべての診療現場で患者の皆様が安心できる環境を作り、安全で質の高い医療を提供します。
3. **社会貢献** 良質な医療提供を基本として積極的に社会に貢献をします。
4. **公正で透明性のある病院** 高い倫理観に基づき様々な情報を開示します。
5. **働きがいのある職場作り** 創造性、主体性を尊重しあい自由に働きやすい職場を実現します。



<http://www.sagaminojcho.go.jp>



FS522898 ISO9001:2015



人間ドック・健診施設機能評価認定施設



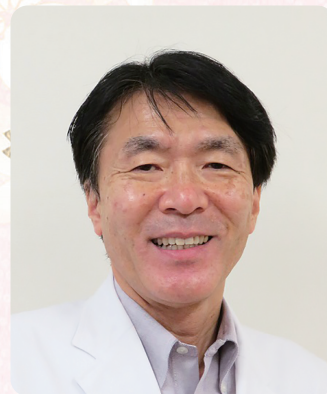
Security
優れた安全対策で皆様を守ります。

Service
先進の医療を快適に提供します。

Speed
すべてに迅速な対応を心がけます。

Sympathy
患者の皆様と想いを共有します。

新年のご挨拶



病院長 今泉 弘

新たな年を迎えるにあたり、
一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、きびしい新型コロナウイルス感染症の流行のなかで、この未曾有の危機を乗り越えるために大変なご努力をされた当院を含めたすべての医療従事者に深く敬意を表します。また地域住民のために多大なるご尽力をいただいた自治体の皆様にも感謝いたします。

昨年とは新型コロナウイルス感染症の流行により、当院でも一部の診療制限、面会制限などにより地域住民の方々や近隣の医療施設にご迷惑をおかけしました。院内感染予防の観点から行った対応であり何卒ご理解をいただければと存じます。

2022年、with コロナであっても相模野病院は1. 患者第一主義 2. 安全確保 3. 社会貢献 4. 公正で透明性のある病院 5. 働きがいのある環境作りを病院の基本方針としています。これまでと同様に『病院』、『健康管理センター』を両輪として地域の急性期医療と予防医学に貢献させていただく所存です。

各診療部においては、大学病院や近隣の病院群、医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携し安全かつ先端的な医療を提供しております。また、診療部と看護部をはじめとしたすべてのコメディカル部門では常に密接な連携を心がけ強いチーム医療を実践しています。

相模原市は人口72万人の政令指定都市で、65歳以上の割合である老年人口率は26%です。今後も高齢化はさらに進んでまいります。このような中で、当院も超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える使命を果たさなければなりません。そのためには近隣の医療機関から信頼され、安心して紹介される病院である必要があります。つまり、地域連携のさらなる強化が必須です。本年は地域における病診連携と患者サービスの向上を目標に加え、これまで以上に他の医療施設より安心してご紹介いただける病院、また地域住民の方々に必要な医療を安全に提供できる病院に持続的に成長すべく努力をしてまいります。

地域に根ざした中規模病院であるJCHO相模野病院には安全かつ高度な医療を提供する義務があります。With/afterコロナを意識しながら地域医療のアンメットニーズにも応えられる病院として全職員が研鑽をかさねていく所存です。今後とも皆様よりご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

末筆にはなりますが、2022年・令和4年が皆様にとって素晴らしい1年になりますよう心からお祈り申し上げます。

健康管理センター

健康管理センター医師 押田 小百合

診療科紹介

第16回



健康管理センターは今泉センター長のもと、現在常勤医師5名と非常勤医師数名で、人間ドック・職域健診・相模原市の自治体健診などの健診業務と、近隣の企業での産業医業務を行っています。2020年度の健診の受診者数は延べ54,886人(院内健診27,908人、院外健診26,978人)でした。

健診業務では、院内健診・出張型健診の診察と、各専門医による読影(心電図、胸部レントゲン、胃カメラ、胃部バリウム検査、腹部超音波、マンモグラフィ、乳房超音波、脳MRIなど)を行っています。健診で異常がある方には受診をお勧めし、当院診療科などへの受診に繋がっています。

2020年度は4月～5月に緊急事態宣言のため健診を一時中止しましたが、再開後は、午前中の受診者数を制限し新たに午後健診を行い受診者が分散するようにしたり、月1回土曜日にも健診を行っています。人間ドック後の食事提供・医師の当日結果説明・保健指導は2021年4月から再開しています。

健診を受ける大きな目的には、初期には症状が出にくい「がん」を早期発見すること、心臓病や脳卒中など命に関わる病気を招く「生活習慣病」の兆候に気づき予防に繋がることがあります。コロナ禍での健診の受診控えにより、病気の早期発見が減り、進行した状態での発見が増えることが危惧されています。皆様に安心して健診を受けていただけるように、受診者・職員の検温、体調確認、マスク着用、消毒、パーテーション設置といった感染対策をしっかりと行って健診を実施しています。これからも皆様に選んでいただける健診施設でいられるよう精進し、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

母子保健功労者として賞をいただきました

周産期母子医療副センター長 吉原 一

このたび、令和3年度健やか親子21の「社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長表彰」を受ける事ができました。これは長年地域の周産期医療に携わってきた事を認めて頂いたものと理解しております。今日まで周産期医療を続けてこれたのも、今泉院長をはじめとする病院スタッフ、またいつも楽しく仕事をさせていただいている周産期センターのスタッフのお陰です。心から感謝させていただきます。このような相模野病院に少しでも恩返しをしたくて、今は産科の初診患者さんを診させて頂いております。妊娠に対して少しでも不安があれば、私の今までの経験を生かして、不安解消して頂けるように努力しています。その際には他科の先生方にもご協力を頂いております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



吉原医師（上段中央）と周産期母子医療センタースタッフ



新任医師の紹介 (五十音順)



① 出身大学 ② 趣味・特技 ③ ひとこと



産婦人科 **あべ みどり**
阿部 翠

- ① 北里大学
- ② 筋トレ、YouTube、ディズニー
- ③ 女性ならではの悩みを、患者様に寄り添って診療させていただきます。よろしくお願いします。



整形外科 **かねこ けんたろう**
金児 健太郎

- ① 東京医科大学
- ② バイク、筋トレ、キャンプ、ダイビング、料理
- ③ 一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



産婦人科 **はっとり きょうこ**
服部 響子

- ① 北里大学
- ② 早寝・早起き、ドラマ・演劇鑑賞、子供と遊ぶ
- ③ 楽しくアクティブに働けたらと思います。よろしくお願いします。



血液内科 **みうら ひさのぶ**
三浦 久宜

- ① 聖マリアンナ医科大学
- ② 料理
- ③ 宜しくお願いします

検査機器が新しくなりました

当院のCT検査機が11月2日から新しくなりました。以前の装置との違いをいくつかご紹介します。

外観の違いとして、以前の装置と比較して検査機の開口部が大きくなりました。見た目には分かりづらいかも知れませんが、機械の穴が大きくなることで以前より検査時の体位に余裕を持たせられるようになりました。より圧迫感が少なく検査を受けていただけたと思います。

機能面も大幅に進歩しました。以前の装置では使用することが出来なかった複数の被ばく低減技術が使用できるようになり、検査被ばくの大幅な低減が可能になりました。また、低管電圧撮影を用いることで造影剤を減量した撮影にも対応できるようになりました。腎機能が低下している患者さんの負担軽減が期待できます。

今後もより体への負担の少ない検査の実現に向けて検討を重ねていきたいと思っています。

CT検査装置

放射線科部長 **山根 拓郎**



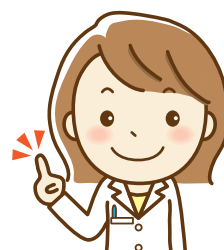
血管造影装置

循環器内科部長 **藤石 珠美**



今年度、血管造影装置の更新を行いました。更新に伴い、画質もよくなり、以前と比較すると、様々な機能を使えるようになりました。またバイプレーンといって、二つの撮影カメラで同時に二方向から観察・撮影ができるようになったため、造影剤の使用量をより少なくして、カテーテル検査や治療をできるようになりました。

検査室の床の色も暖かみのある色に変えたことで、患者さまによりリラックスをして検査や治療を受けられるようにしました。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

相模野病院

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30

TEL:042-752-2025(代) FAX:042-754-9543(代)

発行責任者：今泉 弘 企画・制作：企画広報委員会